

2005年度秋季大会の報告

2005年度秋季大会は、神戸大学六甲台地区（神戸市灘区）を会場として2005年11月20日（日）～22日（火）に行われた。参加者数（前納登録者と当日受付者の合計）は722名（一般会員474名，学生会員151名，非会員97名）であった。

2日目午後には、神戸大学百年記念館六甲ホールにおいて山本・正野論文賞が稲津 将氏と茂木耕作氏に、堀内賞が倉本 圭氏と青木周司氏に、奨励賞が関西気象予報士会「楽しいお天気講座」担当グループと辻川才太氏にそれぞれ授与された。授賞式に続いて山本・正野論文賞及び堀内賞の受賞記念講演が行われた。記念講演に引き続き、大会シンポジウム「大規模観測プロジェクトは気象学に何をもたらすか」が行われた。講演は特定のテーマによる3件のスペシャルセッ

ションと一般口頭セッション及びポスターセッションで行われた。講演申込み件数は465件で、その内訳はスペシャルセッションを含めた口頭発表が273件，ポスター発表が192件であった。

会期中およびその前日と翌日には、個別のテーマによる研究会が6件開かれた。

最後に、今大会事務局として大会準備・運営にご尽力頂いた大阪管区气象台，神戸大学，神戸海洋气象台，京都大学，大阪大学，大阪教育大学，大阪府立大学，奈良女子大学，総合地球環境学研究所，(財)日本気象協会関西支社をはじめとする関西支部の皆様に深く感謝の意を表します。

2005年12月 講演企画委員会